

病虫害防除所情報

・ 稲のセジロウンカ多発の恐れ

・ 稲のいもち病(穂いもち)および紋枯病

今月上旬に水稻病虫害の巡回調査を実施しました。その結果、セジロウンカについては現在の発生状況から多発が懸念されます。すくい取り調査によると既に多数の幼虫が捕獲される所があり、防除が急がれます。

また、いもち病および紋枯病に関しても平年並～やや多い発生であり、今後の発生動向に注意して下さい。

-1. セジロウンカの発生状況

(1) 予察灯調査

成虫の予察灯への飛来時期は平年に比べて早い。誘殺数は7月初旬より平年に比べやや多く推移し、8月上旬より急速に増加している。

(2) すくい取り調査

7月上旬に行った調査では発生程度が並のところは3割程度であった。今回の調査では、都下全域で並の発生が見られ、一部で多の所が各地で見られる。

2. 気象概況

6月中旬以降、7月上旬までの気温は平年より高く推移した。その後は低く推移し、8月中旬以後も日照量が少ないと見込まれている。このため気象予報上から今後の発生は継続すると予想される。

3. 近県の発生傾向

神奈川県、埼玉県および千葉県の一部地域でやや多と予想されているほかは並～少の所が多い。また、農水省の発表では西日本を中心にやや多の予報がある。

4. 主な防除薬剤と収穫前使用日数

薬剤名	日数	薬剤名	日数
サンサイド 水	14	バッサ 乳	7
マクバール 水	21	アブロード 水	7
デナポン 乳・水	45	マラソン 乳・粉	7
バイジット 粉	21	ベストガード 水溶	14
スモチオン 粉3	14	M.R. ジョーカー 粉	14
アトマイヤー 水	30	トレボン 乳・水	21
スヨバッサ 乳・粉	21・14	パダンバッサ 粉	21

(順不同)